

1. 教育目標

学問に対する強い探究心を持ち、常に目的意識を持って循環器内科領域の諸問題に対し挑戦し、臨床的および基礎的アプローチから病態解明と問題解決を成し遂げることができる人材を育成する。最先端の専門的知識を備え、世界水準の研究を理解するとともに、新たなる発想に基づき、病態の本質に迫る研究課題に取り組み創造力と行動力を身につける。

2. 到達目標

- (1) 虚血性心疾患、末梢血管疾患の病態を理解し、侵襲的、非侵襲的治療の最新知見と技術を修得する。
- (2) 虚血性心疾患、末梢血管疾患の危険因子に関する疫学的研究の技術を修得する。
- (3) 動脈硬化進展のメカニズム、インターベンション後の血管反応に関する研究の最新知見と技術を修得する。
- (4) 循環器疾患の危険因子に関する疫学的研究の手法を修得する。
- (5) 心不全の病態生理と治療に関する最新知見を得る。
- (6) 心不全診療における各種画像診断の特性と有用性を理解することができる。
- (7) 不整脈機序および病態解明に関する電気生理学的研究技術を修得する。
- (8) 不整脈に伴う心機能不全に関する研究の基礎技術を修得する。
- (9) 致死的不整脈の病態と治療に関する最新知見、技術を修得する。
- (10) 高血圧症の病態生理と治療に関する分子生物学的研究の最新技術を修得する。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

- 心臓血管病に関する知識について、期末毎の担当教授による口頭試問 (40%)
- 担当指導教官への定期的な研究内容のレポート提出 (30%)
- リサーチカンファレンスでの発表・討議の内容 (30%)

4. 教科書・参考書

特に定めない。必要に応じて兵庫医科大学図書館からの電子検索を最大限利用する。

5. 準備学習

研究を計画・遂行するために必要な最新の文献および情報を収集する。(1時間以上)

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【循環器病学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	虚血性心疾患の病態 虚血性心疾患の治療	赤堀講師 三木助教 吉原助教	火曜/1・2 限	通年	4	IVR センター
講義	虚血性心疾患の診断と治療	石原主任教授 赤堀講師	火曜/4限	半年	2	カンファレンスルーム
演習	文献レビュー 症例カンファレンス 研究経過報告	石原主任教授 内藤講師	水曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	小動物の実験法 小動物の心機能評価	内藤講師 関講師 赤堀講師 松本助教	金曜/1・2 限	通年	4	8号館研究室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	小動物の実験法 小動物の心機能評価	内藤講師 関講師 赤堀講師 松本助教	月曜/6・7 限	通年	4	8号館研究室
実験 (臨床) 研究	虚血性心疾患の病態 虚血性心疾患の治療	赤堀講師 三木助教 吉原助教	火曜/6・7 限	通年	4	カンファレンスルーム
演習	文献レビュー 症例カンファレンス 研究経過報告	石原主任教授 東助教 真鍋助教	水曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	虚血性心疾患の診断と治療	石原主任教授 赤堀講師	金曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	微小循環の生理学 心血管再生医療	内藤講師 関講師 松本助教	火曜/3・4 限	通年	4	8号館研究室
演習	文献レビュー 症例カンファレンス 研究経過報告	石原主任教授 内藤講師	水曜/5限	通年 隔週	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	循環器病学臨床研究法	東助教 真鍋助教	金曜/1・2 限	通年	4	医局

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	循環器病学臨床研究法	関講師 真鍋助教	火曜/6・7 限	通年	4	医局
演習	文献レビュー 症例カンファレンス 研究経過報告	石原主任教授 東助教 真鍋助教	水曜/6限	通年 隔週	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	微小循環の生理学 心血管再生医療	内藤講師 関講師 松本助教	金曜/6・7 限	通年	4	8号館研究室